

砕氷艦（南極観測船）しらせ

「しらせ」について、文部科学省では「南極観測船」と呼んでいますが、防衛省では「砕氷艦」と呼んでいます。今回は、海上自衛隊との collaboration による special 授業ですので「砕氷艦」で表記していきます。

今年で3年目を迎える砕氷艦「しらせ」から「南極」について探究する「きっかけ」をいただく授業。この取組は本校の隣にある「水交会」とのつながりで実現しています。「水交会」は、海洋安全保障に関する調査研究や政策提言に取組むとともに、海上自衛隊の諸活動への協力等を行う団体です。この「水交会」と本校を外苑中学校の同窓会につないでいただいたことが本企画のスタートになります。本日は同窓会の皆様にも参加していただきました。

本年度は第65次隊（令和5年11月出港）砕氷艦「しらせ」岩瀬 剛 副長を中心に話をいただきました。



「砕氷艦しらせ」の概要から、航路・南極大陸・白夜・昭和基地・南極観測のあゆみ・乗組員の仕事・海洋観測・艦内の生活（金曜日の昼食カレー等）・南極の大自然・自然環境の変化等について、幅広く充実したお話となり、生徒たちも夢中に聴いていました。

最後には、質疑応答の時間もいただき、多くの質問があり・・・時間の関係で・・・全員の質問には応えられないという状況でした。



恒例の「南極の氷」もいただきましたので、明日の給食で麦茶とともにいただきたいと思います。「南極の氷」は、雪が固まってできたもの。氷の中に閉じ込められた「数万年前」の空気がプチプチ解け出す体験を今年も体感してほしいと思います。

「ハワイアン給食+南極の氷」明日の給食が楽しみです！

今年は「しらせ」グッズもいただきました。大切に使いましょう！

「オーロラとしらせ」のクリアファイルを全員に、さらに「しらせ」のクリアファイルを3年生にいただきました！

今後、学習に活用してほしいと思います。

将来、この話を聞いた皆さんの中から南極観測に携わる人材が・・・と関係者の皆さんが期待しておりました。



毎年、「教員」が南極観測隊として参加して現地から授業をしています。個人的に行きたいなぁと思ってありますが・・・校長は「ダメ」のようです・・・